

第121回 富士のくに防災学講座

- 日 時 令和元年11月10日（日）午前10時30分～正午
- 会 場 静岡県立大学（草薙キャンパス）食品栄養科学部棟3階 5314 講義室
（静岡市駿河区谷田52-1）

テーマ 「富士山での安全・防災研究最前線」

講 師 静岡県立大学グローバル地域センター
特任准教授 鴨川 仁 氏

（講演概要）

静岡県において富士山は、噴火対策の対象だけでなく多くの登山客を送り込む窓口となっていることから登山者への安全・防災対策も講じなければならない。噴火予測監視については、従来の火山噴火予測型のモニタリングはなされているものの、他の日本の火山と比べて、充実しているとは言いがたい。また、夏季の登山客も多数いるが、事故は毎年絶えない。このような状況で、近年様々な団体が、富士山に関係する安全・防災研究を行うようになってきた。本講演ではこれらの研究の現状や将来について述べる。

